

## 第4 新たな発想等に基づく国土交通行政の展開

### 1. 民間需要創出効果・雇用創出効果の高い事業や施策の重点的实施

民間の潜在的な消費や投資を顕在化させる環境づくりを推進し、併せて、公共事業関係投資額の減少による現下の景気への悪影響を最低限に抑えるため、雇用創出効果や民間需要創出効果等の面から質の高い事業・施策を推進する。

#### 民間需要創出効果、雇用創出効果の高い施策の重点実施（例）

事業名	雇用創出	民間需要創出
公共賃貸住宅の建替え等(東京圏：今後10年間)	約22万人	約1.6兆円
首都圏環状道路の整備	-	約6.0兆円
高規格堤防の整備(首都圏、近畿圏の実績)	-	約0.4兆円
住宅の耐震改修(今後10年間)	約5万人	約0.3兆円
密集住宅市街地の整備(東京圏：今後10年間)	-	約2.0兆円
国際海上物流拠点の整備	約8万人	約2.2兆円

#### 新市場、新産業の育成・整備（例）

事業名	雇用創出	民間需要創出
ITSの推進(2015年まで)	約107万人	約60兆円
住宅リフォームの環境整備(市場拡大(2015年))	-	約1.3兆円
GISの普及	-	約6.1兆円

民間需要創出効果、雇用創出効果ともに、9月中に主要項目(重点7分野、特別要求)等について精査・分析。